

とちぎ夢大地応援団

～ 茂木町小貫地区 活動報告 ～

小貫焼森の里づくり協議会は、4年前から町有地となっている、放牧場跡地の整備に取り組みました。しかし、4haという広大な面積のため、全体の3分の1が手付かずのまま放置されていましたが、今回、とちぎ夢大地応援団の支援を得て、全ての整備を目指しました。

《冬晴れの中の開会式・・・》

事前には、雨も心配されましたが、11月28日（日）当日は、冬晴れとなり、とても寒い朝となりました。

ボランティア33名と、地元の小貫焼森の里づくり協議会のメンバーを併せて、60名の参加により活動が始められました。



（開会式：左手前が会長の河田さん）

《3班に分かれ、作業の開始・・・》

第1班と第2班は、未整備の場所となる放牧場外周の旧馬場の部分を、両端からそれぞれ作業を進めました。20年間放置された土地には、雑木、つる、バラ、篠竹など、作業に危険が待ちかまえる場所です。しかし、旧馬場の部分をどんどん前進し、外周を回って、両班がもう少しで出会うところまで来て、タイムアップ。外周整備の完了は、来年に持ち越しとなりました。



（第1班の作業）



（第2班の作業）

第3班は、中央に走る道路沿いの草刈りを、担当しました。

道路の両側には、桜の木が植えられており、ボランティアからのエネルギーをもらって、見事な桜が見られることでしょう。

(第3班の作業)



《終了後、地元との交流会・・・》

作業終了後、小貫焼森の里づくり協議会のおもてなしにより、“玄そばすくい”、“玄そば重量当て”、“そばの早食い”などのゲームや、“けんちんそば”が振る舞われるなど、参加者のお腹も大満足となりました。

来年度、この地域で『ミニ道の駅』がオープンし、農村レストランにおいて“小貫のそば”が提供されます。



(そばすくい)



(そばの早食い)



《来年以降の取り組みに向けて・・・》

放牧場跡地の整備作業は、まだまだたくさん残されています。何年か先を見据えた整備計画を立て、都市農村交流等と合わせた活動が展開出来れば、素晴らしい地区となることでしょう。

小貫焼森の里づくり協議会の、さらなる活躍を期待します。